

1 本年度の重点教育目標

豊かな心をもち、確かな学力を身につけた生徒の育成

2 本年度の取組の重点

(1) 「確かな学力」の育成 (2) 「豊かな心」の育成 (3) 「魅力ある教育活動」の推進 (4) 特別支援教育の推進

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
教育目標 ・ 教育課程	①重点目標達成 ②教育課程の適切な編成 ③確かな学力の定着と主体的な研究活動の推進 ④全職員の協働と一致した指導体制の確立	a	新学習指導要領に準拠した適切な教育課程を編成・実施した。さらに、校内研修を全校体制で推進した。 次年度は、全職員の協働のもと、教育目標の実現に向けて教育活動を推進していく。	A	A	
学習指導	①学習意欲が向上する授業の構築と実践 ②家庭学習の習慣化 ③主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業 ④ICTを活用した学習活動の推進	b	主体的・対話的で深い学びの推進を行い、さらに1人1台端末が導入され、ICTを活用した学習活動を行った。 次年度は、ICTの活用をさらに充実させていきたいと考えている。	A	A	
道徳指導 ・ 総合的な学習の時間 ・ 特別活動	①生徒の心に響く道徳指導 ②いじめ撲滅や思いやりの心を育てる指導 ③問題の解決や探究活動 ④3年間を見通した総合的な学習の時間の推進 ⑤学級活動、生徒会活動、学校行事の内容の充実 ⑥進路指導の工夫	a	思いやりの心を育てる道徳教育を推進し、生徒の心に響く指導を行った。また、コロナ禍ではあるが、総合的な学習、特別活動を計画通りに実施することができた。 次年度は、コロナ禍のなかでさらに充実した内容にしていきたい。	A	A	いじめや不登校の問題は具体的な解決策が見つからず、とても難しい問題です。不登校になった生徒が、様々な解決策を模索しても改善なく卒業ということを聞きます。この項目でC評価でなかった事を高く評価して先生方が今後も努力することをお願いします。
生徒指導 ・ 健康安全指導 ・ 特別支援	①望ましい集団生活と基本的な生活習慣の確立 ②自主的・自立的な態度の育成 ③問題行動の早期発見と予防と適切な指導 ④災害時の適切な行動のための指導 ⑤健康安全に関する指導 ⑥特別支援教育の推進	a	全職員で組織的な指導に務め、適切な生徒理解、初期対応を行うことができた。また、問題行動の早期発見、予防、適切な指導を推進することができた。 次年度は、適切な生徒指導の推進に努め、危機管理マニュアルの見直しを図っていきたいと考えている。	A	A	
家庭地域連携 ・ 豊かな人間関係	①家庭や地域への情報発信 ②地域と連携した教育活動 ③地域素材を生かした教育活動の工夫 ④開かれた学校 ⑤小学校との連携 ⑥認め合う場の設定の工夫 ⑦適切な部活動の推進 ⑧自己決定、自己存在感、共感的理解	b	コロナ禍で、家庭や地域の連携をどのように図るかを模索しながら教育活動を進めた。 次年度は、コロナ禍で今年度以上の家庭や地域との連携を行っていききたい。	A	A	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた (8割以上)
b	概ね達成できた (6割以上)
c	十分ではない (4割以上)
d	達成できなかった (4割未満)

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。